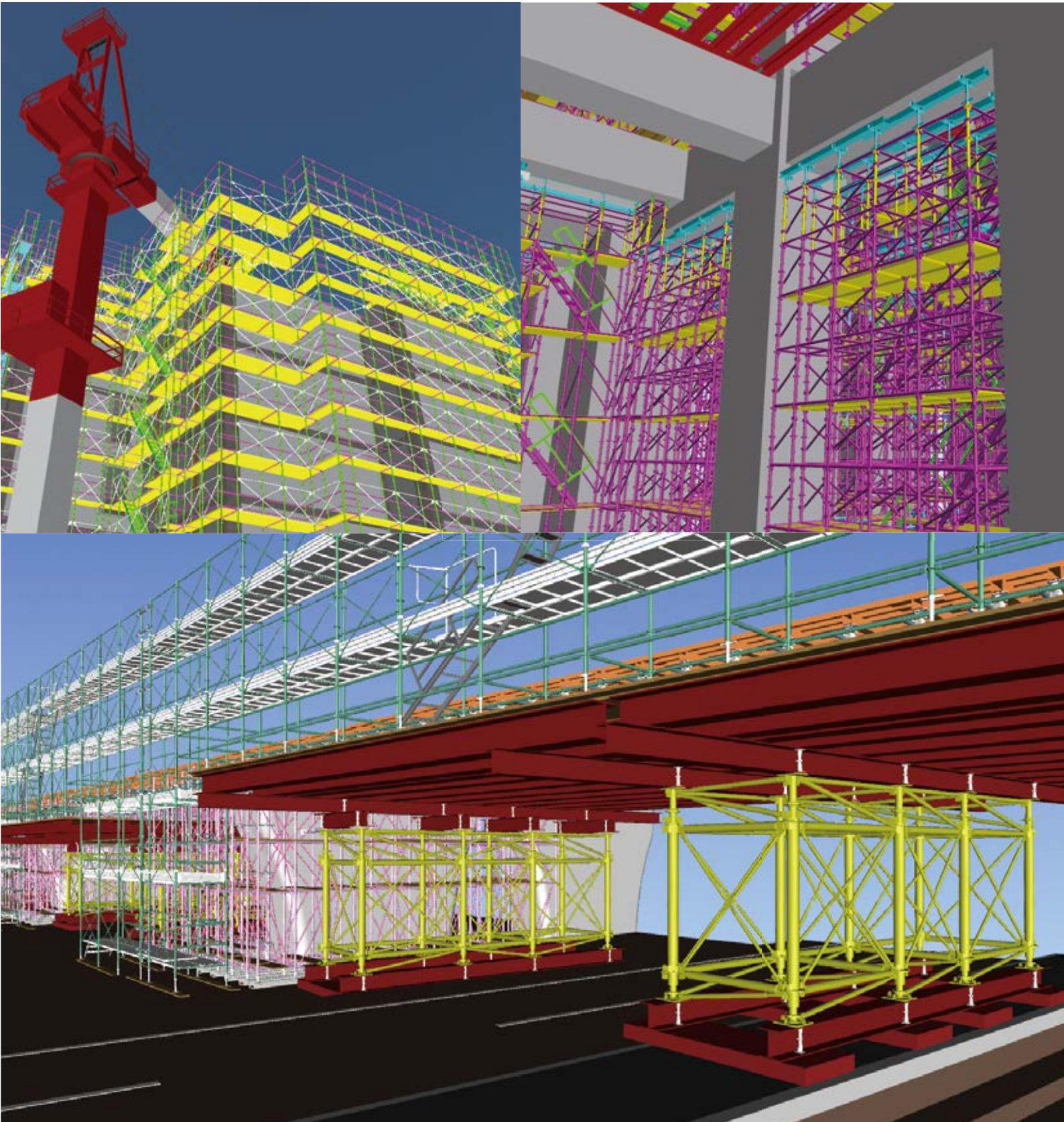


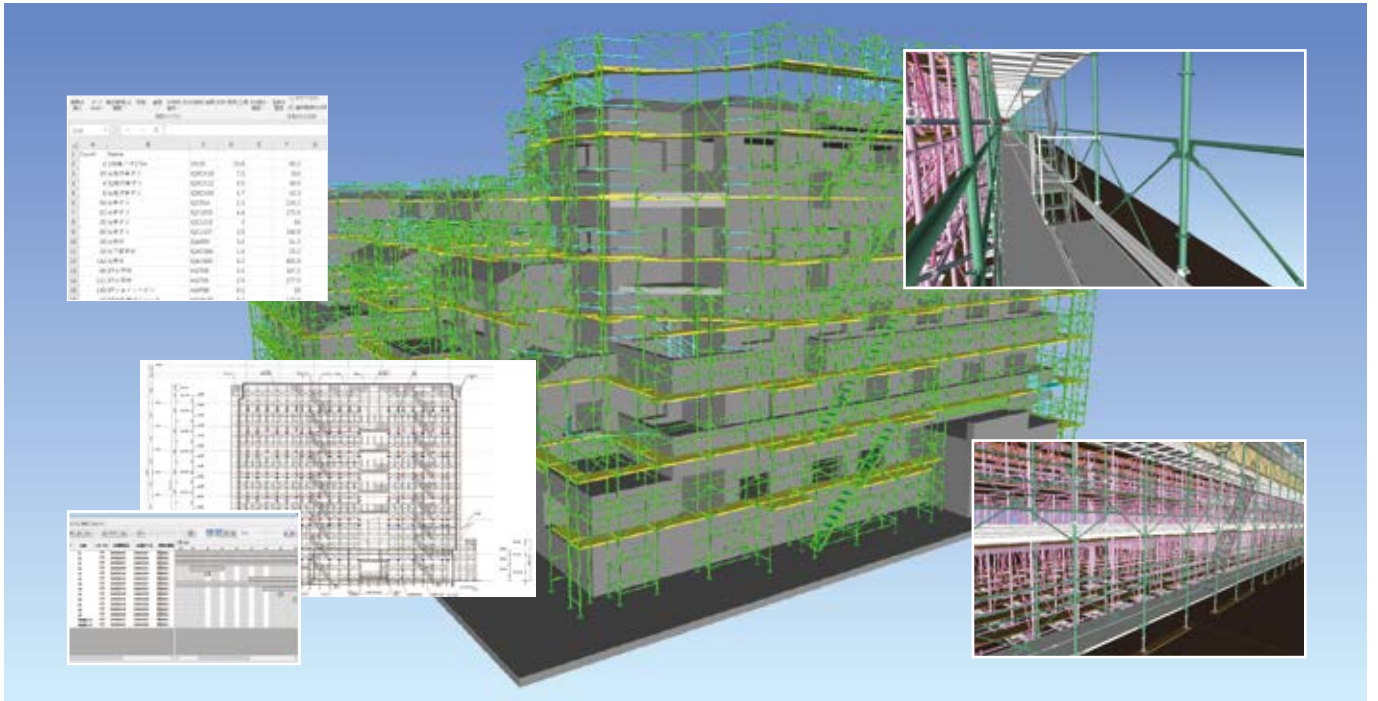
# Takamiya BIM/CIM

Building Information Modeling / Construction Information Modeling



# おさまり・部材情報・工程を一元管理。 「タカミヤのBIM/CIM」で、仮設工事を「可視化」。

仮設計画にBIM/CIMを導入することで、施工上の問題発見やスムーズな予算の算出、工程管理などが可能に。ミスや手戻りから生じる無駄なコストを削減し、さらなる「安全」と「効率化」を目指します。



BIM/CIMモデルのイメージ。BIM/CIMソフトウェアで設計された3Dモデルは、部材情報や数量、費用などの様々な属性情報を持つ。

ミスや手戻りから生じる「無駄なコスト」を削減！さらなる「安全」「効率化」へ！

## 施工段階を「可視化」 3Dモデルで一目瞭然！

設計段階で施工上の問題を発見！ミスを回避！

設計段階ではわからなかった躯体との干渉や危険箇所の確認など、施工段階で明らかになるような問題も、設計段階で「可視化」することが可能。最適な計画やスケジュールを検討できるので、手戻りや軌道修正による無駄なコストを削減できます。



躯体との干渉を  
発見



危険箇所の確認

## 部材情報の「可視化」 3Dモデル範囲選択で自動集計！

一部、または全体の部材情報確認や費用の算出作業を効率化！

タカミヤオリジナルの機能を使えば、部材数量の算出も、直感的な操作でカンタンに。画面上の3Dモデルで必要な範囲をサッと選択するだけで部材数量を算出できるので、費用の算出も手間なくスムーズに行うことができます。CSVでの出力にも対応しているので、共有も容易です。



画面上で必要な範囲  
を選択

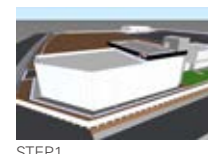
名称	数量	単価	合計
鉄骨	1000	1000	1000000
鉄骨柱	500	2000	1000000
鉄骨梁	500	2000	1000000
鉄骨床	500	2000	1000000
鉄骨壁	500	2000	1000000
鉄骨屋根	500	2000	1000000
鉄骨基礎	500	2000	1000000
鉄骨外装	500	2000	1000000
鉄骨内装	500	2000	1000000
鉄骨設備	500	2000	1000000
鉄骨その他	500	2000	1000000
鉄骨合計	5000	2000	10000000

選択部分の部材数量を確認、CSVで出力

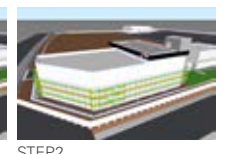
## 工程管理の「可視化」 時間軸設定で工数ごとに運用可能！

現場との比較で進捗管理をスムーズに！

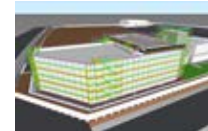
3Dモデルを一元管理し、情報を随時更新可能。図面を最新の施工状況に反映できます。さらに設計データに時間軸を組み合わせれば、工程ごとにモデルデータを確認、実際の進捗状況と比較することで、効率的な工程管理を実現します。



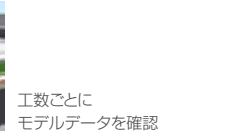
STEP1



STEP2



STEP3



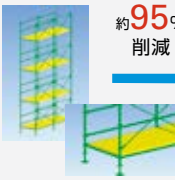
工数ごとに  
モデルデータを確認

## TAKAMIYAならではの特長

### 数量算出がスムーズ

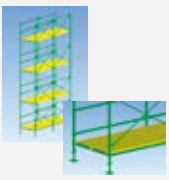
TAKAMIYA コマンドや Connect.oneQS の活用によって、数量算出をスムーズに行うことができます。たとえばモデル全体の数量算出が手拾いだと 60 分かかるケースでも、TAKAMIYA コマンドの活用によって 5 分程度に短縮できるケースも。

詳細モデル  
2406kB



約 **95%**  
削減

ライトモデル  
143kB



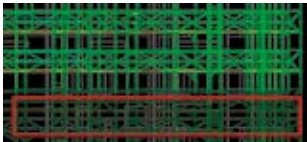
### データ容量の軽減

各種情報を含んだ 3D モデルは、データ容量が膨れ上がる傾向にあります。しかし、タカミヤの BIM では、形状を簡略化し軽量化することで、データ容量を約 1/10 に軽減することが可能です。このデータ軽量化によって、関係者間での 3D モデルの受け渡しや閲覧が快適になります。

### これからBIM導入をご検討の場合

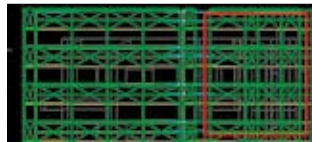


#### 01 搬入の重複防止



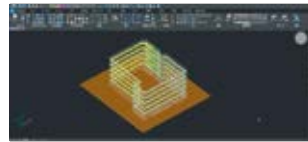
算出済みの部材は色が変わります。色が変わった部分は再度算出することができない仕組みなので重複した算出を防ぎます。

#### 02 工区の境界部分の選択



算出範囲の境界部材を含む・含まないを選択できます。より細かい正確な数量を算出することが可能です。

#### 03 総重量の確認



算出した瞬間に総重量を確認できます。トラックに載せられる重量を確認しながら算出範囲の調整が可能です。

#### 04 CSVでそのまま発注



Web オーダーシステム OPERA に CSV を簡単アップロード! 素早く簡単に発注することが可能です。

### R Revit をすでにお使いの場合



#### 01 搬入の重複防止



範囲に指定済みの部材は新規ボックス作成時に選択できません。重複して算出範囲に指定できないため再度の算出を防ぎます。

#### 02 工区の境界部分の選択



算出範囲の保存ができるため、事前に範囲指定することが可能です。

#### 03 総重量の確認



クラウド上で算出できるため、設備環境を整える必要がありません。  
※ACC を契約している必要があります。

#### 04 CSVでそのまま発注



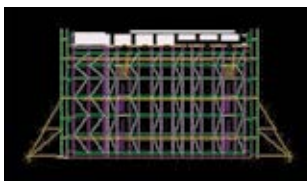
タカミヤ仕様の CSV を書き出すことで、Web オーダーシステム OPERA に簡単アップロード!



### スムーズに閲覧確認可能

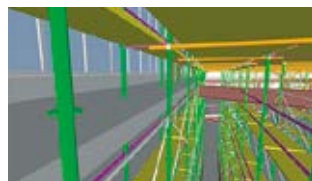
BricsCAD のデータを AUTODESK Navisworks に変換することで、スムーズな閲覧が可能に。設計から施工計画までの全過程を視覚的に検証することが可能となります。

#### 01 断面確認



断面をビューポイントに設定し、2D のように確認することが可能です。

#### 02 干渉確認

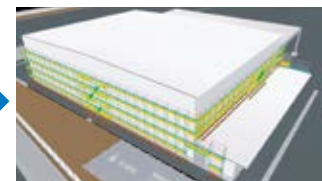


干渉箇所をビューポイントに設定し、打ち合わせ時に活用することが可能です。

#### 03 ステップ



ビューポイントにてステップごとに仮設を表示させることが可能です。





株式会社タカミヤ

本 社 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階 〒530-0011 T 06. 6375 3900  
営業本部 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング11階 〒103-0027 T 03. 3276 3900



[www.takamiya.co](http://www.takamiya.co)